

## 三菱地所株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、三菱地所株式会社（以下「本法人」）が発行する第143回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2023年5月2日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定されません。

本法人は、SPTsを①2025年度に再生可能エネルギー由来の電力比率100%達成、②2030年度にスコープ1,2の合計を70%以上、スコープ3を50%以上削減（基準年度2019年度）とし、未達の場合、「寄付」又は「我が国の制度上認められた、もしくは国際的な認証機関に認められたボランティア・クレジット等の購入」を行います。

また、本法人は、本債券の発行にあたって、「三菱地所 Sustainability Vision 2050-Linked Finance Framework」を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、ICMAサステナビリティ・リンク・ボンド原則2020及びLMAサステナビリティ・リンク・ローン原則2021、環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版への適合性について、第三者意見を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上